



小尻あやさん
安らかにおねむり下さい

-信号機が付くよう頑張ります-

弔辞

あやちゃんへ

二学期を迎え、これから体育祭、文化祭など楽しくていそがしいことが始まろうとした矢先、あやちゃんは突然いってしまいました。

私が連絡を受けたのは、その日の夜八時三十分頃でした。つい数時間前、手を振って別れたあやちゃんに、もう二度と会えないなんて、とても信じられなかったです。次の日も、ずっと悪い夢を見ているかの様な気分でした。

学校では、明るくて元気で、何をするにも積極的に取り組むあやちゃんを、私はもし自分に姉がいたら、きっとこんな感じだろうな、と考えていました。それから、合唱コンクールでピアノをひいていた時や、文化委員として仕事をしていた時、あやちゃんはすごく輝いていて、私はそういう真面目で一生懸命な所も、大好きでした。勉強の面でも、日常生活の面でも協力し合っここまできて、たくさん迷惑もかけたけれど、たくさん助けもかりたけれど、わたしはとても楽しかったです。みんないい思い出ばかりです。

ところで、私達はあの横断歩道に信号機をとり付けて、また同じことを繰り返すまいと考えています。どうすれば良いのか詳しくは分かりませんが、とにかくがんばってみるつもりです。もちろん、あやちゃんも賛成してくれませんか？

あやちゃんは、私達一人一人の心の中で生き続けていきます。もう会えないけれど、友だちであることに変わりはありません、いつまでも。

最後に。私達は、あやちゃんの分までもしっかりと生きて行きます。体育祭も文化祭も、そしてこれから始まる全てのことに對して、ベストを尽くしさらに前向きにがんばって行きたいと思ひます。あやちゃんがいつも私達を見ていてくれると信じて、つらいことも悲しいことも、必ずのりこえて見せます。だからどうぞ、安らかにおねむり下さい。

平成四年九月二十二日
横浜市立富岡東中学校生徒
生徒一同

代表二年五組 向井 朗子

新聞には

9月20日付けの神奈川新聞では右のようにこの事故を報じています。

金沢警察所長へ要望書

この事故の起きた4日後の9月23日、ブラウンハイム自治会では、金沢警察署長あてに、下記のとおり要望書を提出しました。

- その内容は、
- (1) 3カ所の横断歩道に、**信号機**を設置。
 - (2) 横断歩道の手前で自動車の速度を落とさせる為に、横断歩道付近の**路面**3カ所を**改造**。
- 以上2点を要望するものです。

平成4年9月23日

金沢警察署長 殿

ブラウンハイム
会長 鷲田



要望書

拝啓、貴署益々ご清栄の段お喜び申し上げます。

さて、この度貴署管轄の並木一丁目20街区の周回道路上でおきました交通事故に對し、多大なるお手数をお掛けしたと推察致します。

この事故は現場がブラウンハイムの居住地域の横断歩道上というだけでなく、被害者が当ブラウンハイム居住の女子中学生で、しかも即死というなんとも痛ましい大事故でした。

当自治会と致しましては今までにも信号機等の要望をさせて戴いておりましたが、この度の事故をきっかけに「一日も早い対応により、二度とこのような惨事のおきないようにすべきだ」という住民の声を背景に改めて下記の要望をさせて戴きたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 横断歩道に信号機を設置 3ヶ所
 - 1) シーサイドライン並木中央駅前
 - 2) シーサイドライン並木北駅前
 - 3) 一丁目20-1街区前
2. 横断歩道付近の路面改造 3ヶ所
走行中の自動車の速度を落とさせる為の路面改造

以上

自転車の中2 はねられ死亡

十九日午後五時五十分ごろ、横浜市金沢区並木一丁目目の市道で、自転車で横断歩道を渡っていた同所、市立富岡東中学校二年、小尻あやさん(三)は、同市磯子区森四丁目、会社員石塚章晃容疑者(〇〇)の乗用車にはねられ、全身を打ち死した。

金沢署は石塚容疑者を業務上過失致死の現行犯で逮捕して調べているが、同容疑者は同乗者と雑談していた小尻さんに気付くのが遅れたらしい。

小尻あやさんの事故に想う

金沢シーサイドタウン連合自治会事務局長 福永哲夫

当連合自治会の活動はサマーフェスタ、つつじ祭り等のイベントだけでなく道路交通、シーサイドライン、商業施設、文化活動、防災、防犯の6つの対策専門委員会をつくり活動しています。

特に道路交通対策専門委員会は連合自治会の会長自身が委員長になり、率先して活動しています。

活動内容は駐車場対策を初めとして道路使用に関する全ての問題、自転車、自動車等に関する問題他交通に関するあらゆる問題を取り扱っています。

当地区は皆様よくご存知の通り違法駐車が道路上にあふれています。

この違法駐車対策に対し当連合自治会は大きな比重を置いてきました。

駐車場を増やすにはどうしたら良いか等色々対策を講じて来ましたが、然し乍ら余りにも多い違法駐車のために効果が表われたとは言い難い現状です。道路上におかれた自動車の影から子供が飛びだし、事故に遭ったというケースは数限りがありません。

駐車場増設は色々難しい問題を抱えています。当連合自治会で出来ることは各単一自治会に対しての啓蒙活動です。また行政側に対して駐車場の用地を確保してもらうよう働きかけることです。

駐車場対策と平行して交通安全対策に取り組む必要が考えられ、その結果として、カラーコーンによる片側駐車規制運動を最近実施しました。

狭い道路ではカラーコーンを設置し、片側を完全に駐車禁止にする考えです。

取り敢えず一丁目から二丁目に渡る延べ千メートルにカラコーンを道路の片側に設置しました。

これにより多少とも見通しが良くなり事故が減少すればと思います。

この対策は当初考えていた以上の協力がえられ、今後の対策に対し、明るい展望が開かれたと考えられます。

今回の事故の根本的原因として考えられるのは、スピードが出せる道路があるからだと思います。

当地区の道路は全て制限時速で走らないと運転し難い様な道路に改造すれば、大きな事故の発生は起きないと考えられます。

また横断歩道三か所に信号機を設置するよう警察署に要望書を提出しました。

信号機の設置及び路面の改造等については行政側の予定もあり、すぐにはなかなか出来ないと考えられ、取り敢えず横断歩道の設置をおこないました。

今後共住民の皆様のご協力を得ながら、交通安全対策を推し進めていきたいと考えていますので宜しくお願い申し上げます。

小尻あやさんのご冥福を心からお祈りいたします。

—小尻あやさんの御冥福を祈り—

今から行動を！！

—繰り返すまい悲劇—

今回の事故を知ったのは、臨時自治会の招集の連絡によっての事でした。小尻さん宅の悲しみは、はかり知れず、なんと御悔やみ申しあげたらよいのかわかりません。加害者は時速90キロを超えられる速度で横断歩道上の小尻あやさんをはねたそうで、ブレーキの痕跡は数十メートルも続いていました。この加害者の暴走に大きな憤りを禁じえなかったのは、事故を知った人、全員ではないでしょうか。富岡東中学校生徒の弔辞の中にも述べられておりましたが、今はやすらかにねむって頂きたい、祈る気持ちで一杯です。

自治会は重大事態とし、自治会長名で、金沢警察所長に二度と悲劇を繰り返さぬよう、要望書を提出しました。

一方、今回の事故は、おこるべくしておきた無視出来ない部分があると考えられます。以前より出ていた信号機の設置や、超速度を防止する路面の改修への要望。並木北からジャスコ迄の道が、国道16号や産業団地内の産業道路渋滞時に、朝、夕の出退勤車の恰好の抜道になっている事等々。

そこで、第三住宅、さざなみ、センター、ブラウンの四住宅の代表と有志が、小尻あやさんの御通夜の後、早速第三住宅集会所に集合し、地元選出の県議員、市議員を招いて、今回の事故を前面に討論を重ねました。

(1)幸浦地区道路の騒音問題

(1)357号線道路上の暴走

(1)団地内外周辺道路の騒音問題

(1)当面の対策として (A)警察の対応

(B)警察への要望

(1)公安委員会への対応

(1)道路面上の改善に対する土木事務所への働きかけ

(1)深夜営業の自販機や業者への働きかけ

(1)自治会として出来る項目は何か

等々が、熱心に論議されました。

富岡東中学校生徒代表は弔辞で、"詳しくは分かりませんが、信号機をつけるためにがんばる"と述べています。

交通事故は、他人事ではない、まさにその通りだと考えます。交通事故ゼロをめざし、安全な環境を作り、次世代に残すのは今いる一人、一人、特に大人の役割ではないでしょうか。

悲劇は繰り返さない。決意をこめて今日から行動を起こす必要があるのではないのでしょうか。

(広報部)



県議、市議を交えて、四住宅代表による討議